

# BOOKMORNING!

from 学校図書館



読んでみませんか？ 学校司書  
おすすめの本

## 小学校4年生が1000ページの長編を読んだ！ 『ニルスのふしぎな旅』

1月に実施されたセンター試験、地理の試験問題でムーミンが大変な話題になりましたが、『ニルスのふしぎな旅』上、下巻(菱木晃子訳 福音館書店 以下『ニルス』)も設問の一部に登場していました。かつてTVアニメーションで楽しまれた方もいるでしょうか。

この本は女性初ノーベル文学賞作家セルマ・ラーゲルレーヴが6年もの歳月をかけて執筆した1000ページを超す長編物語です。主人公ニルス少年はいたずらが過ぎた罰として、魔法をかけられ、小人に姿を変えられます。3月、渡り鳥の季節、ニルス家で飼っているがちょうのモルテンは、渡り鳥のガンの群れについて行きたくてそわそわ。ついに飛び立ったモルテンの背中に乗り、ニルスは図らずもスウェーデン一周の旅に出発します。いたずら好きな少年が、長い旅をへて成長し、家路に着こうとする時、人間にもどるためには、かけがえないものの命とひきかえにせざるを得なくなるという物語です。

長編を読む時間がない方におすすめの本は『ニルスが出会った物語』全6巻(セルマ・ラーゲルレーヴ原作 菱木晃子訳/構成 平澤朋子画 福音館書店)です。このシリーズは『ニルス』を初めて読む読者のために、物語の一部を短編の絵本仕立てにしてあり、どの巻からでも違和感なく物語の世界に入ることができる工夫がされています。さらにスウェーデンに取材旅行して描かれた絵が本当に美しく、スウェーデンに行きたくなるほど。1巻の『まぼろしの町』はニルスが百年に一度、一時間だけ海底からよみがえる町に迷い込む話です。ニルスはその町を救えるチャンスがあったにもかかわらず、助けることができないのでした。

以前勤務していた小学校では、当時4年生女子がこのシリーズを全巻読み、その後1000ページにわたる『ニルス』を最初から読みたいと言いました。彼女は数ヶ月かけてこつこつと読み終え、「いたずら好きなニルスがいたずらをしなくなり、成長するところが面白かった」と話してくれました。

アニメで親しんだ方も、大人になって読むときっと新たな発見があるはず。ノーベル賞作家の大江健三郎氏が少年時代に感銘を受けた本としても有名です。私はこの本と公共図書館のノーベル文学賞作家コーナーで出会いました。寒い夜に、本の中でスウェーデンを旅してみたいはいかがでしょうか？

# BOOKMORNING!

from 学校図書館

…「雄叫」裏面にて、時折、本の紹介をしていきます。